

講義名	卒業研究		
講義コード	44422	授業形態	
担当教員	森脇 丈子	開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限

学部・学科	演習分野
全学部全学科	消費者問題の視点からみた生活経済の分析

概要説明

私たち消費者は、どのように社会との関わりを持ちながら生活しているでしょうか。購買意欲をそられる商品やサービスとそれを購入する消費者、収入を得るために働く労働者、企業を運営する経営者や幹部、退職した人、何らかの形で他者からの助けを受けながら生活する人などさまざまです。私たちの生活にとって、より安定的で快適な消費の形について、消費や労働の側面から研究していきます。

適切な日本語の使い方、わかりやすいプレゼンの仕方、他者の話を聞き自分の考えを論理的に述べることのできる力、課題に必要な資料の探し方・活用の仕方等を身につけていきます。テーマは、学生の関心のある領域をとりあげていきます。

学内・学外での「実学」（社会共創企画）にぜひチャレンジしてください。

主な卒業論文のタイトル

- ・現代社会と『ゲーム依存』の密接関係性
- ・ペットと共存していく方法 - ペット産業や殺処分の現状から考える
- ・次世代自動車の可能性 - 環境問題から考えて
- ・日本の空き家問題 - 政策による空き家の増加抑止と再利用の考察
- ・東京ディズニーリゾート - ホスピタリティがもたらす効果 -
- ・ストレス社会に打ち勝つ余暇生活
- ・日本の漁獲量と消費量の推移について
- ・効率の良い脂肪トレーニング・健康的なダイエット
- ・生活習慣病と健康的な体作り
- ・カーブの企業戦略と優勝・人気の理由
- ・マラソンにおける効果的な練習と食事について
- ・音楽の成り立ちと現代音楽市場の状況

教員よりの要望

研究演習 は、対面授業です。必ず出席してください(遅刻厳禁)。やむを得ず欠席する場合には、前もって連絡をいれてください。無断欠席の場合には、「履修の意思なし」とみなします。その場合、単位の修得はできません。

ゼミでは、テーマを決めて議論をおこないます。授業内で、参加者の発言を求めますので、発言できるよう準備しておいてください。宿題をしたうえで、ゼミに参加してください。

新聞記事や本を使って、内容を把握し、それを報告し、議論するといった流れで行います。そのため、普段の生活で話題になっている経済情報やニュースに触れる場面を多くつくってください。また、新聞や本などの活字にも慣れていってください。

筋道の通った話ができる人材になれるよう、訓練をしていきます。そのため、毎回宿題を出します。努力して、挑んでください。

選考方法

1. 提出書類の内容
2. 面接（面接の際には「ゼミで何に取り組みたいか、どのような力をつけたいか」について教えてください。）の2点で選考します。

基本は、挨拶ができて時間を守る人、かつ、やる気のある人 であれば、受け入れOKです。

なお、毎週宿題をだしますので、宿題をしたうえでゼミに参加してください。

《注意》ゼミで議論に参加しない（発言しない）人、宿題をやっていない人、無断欠席をする人は単位が修得できません。

評価方法

ゼミでの報告と議論への参加による総合評価です。

《注意》ゼミに出席しているだけでは、合格点をもらえません。宿題をしてこない人、発言をしない（議論に参加しない）人、無断欠席をする人は、単位が修得できません。

教員英字氏名	研究室
MORIWAKI Takeko	5411

最終学歴

立命館大学大学院経済学研究科博士課程後期課程(単位取得満期退学)

学位

経済学修士

主な研究活動・社会活動・研究業績

- ・生活経済論、消費経済論
- ・消費生活の日仏比較
- ・フランスの小売業、地域に根づいた生産・消費共同体の調査・分析

趣味・特技

- ・街中散策、山歩き
- ・映画鑑賞
- ・海外ニュースのチェック

所属

経済学部 経済学科

所属学会

- ・日本流通学会
- ・日仏社会学会
- ・日仏経営学会
- ・日本消費経済学会
- ・経済理論学会

専門分野

・生活経済論、消費経済論、社会経済学

担当科目

講義科目 消費者問題論、NPO論、生活構造論、経済学入門、アミューズメント事業論、英語で学ぶ経済
 演習科目 研究演習、研究演習、卒業演習
 その他 公務員特別演習、業界研究(官公庁)

備考

上記の「担当科目」うち、＜講義科目＞のなかから必ず一つ以上受講してください。

実務経験の有無及び活用